

「きょうだいの日」

盛り上がったゲーム

メガスティッキー

細長い木の棒をわっかで束ね、倒さないよう引き抜いていくおもちゃ「スティッキー」。これ、巨大にしたらおもしろいんじゃない？というシブレッドのひとことをヒントに、新聞紙を丸め、タンバリンで束ねる「メガスティッキー」がうまれました。「きょうだいの日」史上最大にみんなで協力しあってドキドキわくわくあそびました。新聞紙の棒は朝刊1日分を丸めたものがちょうどよかったです。



あっちこっち

アメリカのシブショップのゲームのひとつです。体育館を端から端まで使ってあそびます。「朝ごはんがパンだった人はこっちの端っこ！ごはんだった人はあっちの端っこ！」「マクドが好きなのはこっち！ミスドが好きなのはあっち！」と、ただ走り回るだけなのですが、とっても盛り上がります。シブレッドのアレンジで「〇〇ちゃんを好きな人は〇〇ちゃんのところ！」で、みんなでぎゅっと集まって記念写真を撮りました。

めくりまくり

2色の画用紙を貼り合わせた、裏と表で色の違う紙を50枚ぐらい用意します。子どもたちは色に合わせて2チームにわかれます。ひろーい床に2色が同じ数になるようばらばらまいて、ゲームスタート。制限時間内に自分のチームの色の紙が多くなるよう、ひたすら紙をめくっていきます。下を向いて夢中になるので、頭をこっつんこしないようちょっと注意。

いつも人気のゲーム

ふうせんサッカー

間違いなく1番人気のゲーム、ふうせんサッカー。汗だくになります(笑)。アメリカのシブショップでも人気のゲームなのだそう。2チームに分かれ、風船を手ではたきながらゴールにはこぶゲーム。風船を増やしたり大きくしたりすると盛り上がり度UP！アメリカでは「プッシュピンサッカー」といって、ゴールキーパーがプッシュピンで風船を割ると1点になります。しぶたねでは、割れる音を怖がる子もいるので、ゴールラインをつくっています。



ごぼぶくろけつと

ごぼうを入れるごぼう袋でつくるロケットで「ごぼぶくろけつと」。袋を膨らませ（中に軽い飾りになるものを入れると綺麗！）、口をしぼり、結んだところを入れ込んで布テープで止めます。テープで止めた重い方を前に、押し出すように飛ばすとよく飛びます。距離を競っても、キャッチボールしても、枠をつくって通すチャレンジをしても、歓声が上がります。

最初は、かさぶくろをふくらませてロケットにしたら楽しくない？とはじめた「かさぶくろけつと」でした。しかし実際にあそんでみると、飛ばしている間にどうしても空気が抜けてしまって、シブレッドが証々傘袋をふくらませる修行状態に(笑)。これは大変だ〜と調べたところ、傘袋より厚みがあって丈夫な袋があることを発見。イカを入れる袋とごぼうを入れる袋でした。

ごぼう袋は傘袋より大きくて、透明で、よく飛びますよ〜。小さめが良い子には、セロリ袋やネギ袋もあります☆

定番のゲーム

キャッチ

キャンプでも定番の「キャッチ」。最初のゲームにぴったりです。輪になって座り、左手は軽くダーにしてたてにしておきます。右手は人差し指を出して、右側の人の左手の中に。「きゃ、きゃ…」とシブレッドが繰り返して、「キャッチ！」と言ったら自分の指は逃げ、左手で隣の人の指をつかまえます。「きゃっぶ」「きゃらめる」などの類似品に注意！

ステレオゲーム

2グループに分かれ、離れます。テーマをひとつ決めて（「くだもの」とか「色」とか）、片方のチームがテーマに沿った別々の単語を一緒に叫び、相手チームが聞きわけて、当てていくゲームです。どんな単語にするか作戦会議をすることで、子どもたちの距離が少し近づきます。

ばななんばななん

鬼を1人決め、黄色い風船をもちます。鬼に風船でタッチされるとバナナになります。バナナになった人は足をそろえ、頭の上で両手を合わせ、体をちょっとまげて悲しそうにします。バナナの皮（両手）を2人1組でむいてもらおうと、人間に戻れます！走れる喜びを笑顔で表現しつつ復活しましょう。鬼になるのがプレッシャーな子もいるので、子どもはバナナにならないバージョン（バナナになった大人を助けるだけ）や子どもが全員鬼バージョンからはじめます。

グループジャグリング

これもシブショップのゲーム。ジャグリング（お手玉）を一人でうまくやるのは難しい！ではグループでやったら簡単になる？それとも…？5、6人のグループをゆりり輪輪ななまます最靱結つづつぶたねあみみるるを密出し投授る随随番速ゆめます投授る相手受受取取相手を確認まます確認したゆゆり投授るみまます慣慣ねるだだだだ早々人形形数数増増やてあそびまよう！

グループジャグリングのためにつくったつぶたねのあみぐるみ。ジャグリングが終わっても子どもたちは可愛がってくれます。どれだけ高く投げられるか？どれだけ遠くに投げられるか？ある日は、つぶたねを握って鬼ごっこをするというよくわからないゲームに発展し、子どもたち、みんなでキャーキャー走って、なんだかとても仲良しになっていました☆子どもたちはあそびを生み出す天才です。ゲームが発展していったり、ルールが変化していく様子にはいつも感動をおぼえます。

むかで競走

運動会などでおなじみのむかで競走。2チーム以上に分かれ、ながーいげたをみんなで履いて、前の人の肩に手をのせて、「せーの」で右、左、右、左、足をそろえて、ころばないようにゴールを目指します。

段ボールと布テープを駆使してつくったむかでの足。しかし、当日のリハーサルの時点で、ちょっと歩いただけで壊れかけるというアクシデントが。シブレッドは急いでルールを変更しました。「みんな、よく聞いてほしい。このむかで競走は、もしかしたら最後までゴールできないかもしれない。だから走らなくてもいい。はやさは関係ない。みんなで協力してゴールすることを目指そう！」子どもたちは笑いながらレッドの呼びかけにこたえてくれました。「いち、に、いち、に」と声を掛け合い…そしてついにどのチームも壊れる前に無事にゴールできたのでした☆

途中で目的が変わったゲーム(?)

